

フェアプレイで
日本を元気に
あきらめ、あきらめ、あきらめ

フェアプレイストーリー
フェアプレイ
たいしょうさくひん
大賞作品
スポーツにおけるフェアプレイとは
佐藤 琉来さん

フェアプレイとは何だろうか？
この作文を書いている間ずっと考えていた
サッカーは小3の頃から続けていて今ではキャプテンもやっている
正々堂々と戦ってくれるチームがいる一方で...
じゃあ相手が嫌な思いにならないようにずっと気を使うのか？
あれも勝利のためには必要なことだったのかな...?
...そんなことはない
自分がやられて嫌なことを人にするなんておかしいことだ
いやそれじゃ本気のぶつかり合いができない
相手にも失礼だ
難しいんだ...
だからこそ思った
サッカーには今、アンフェアなプレイがあってフェアプレイがある
だけどこれからは「フェアプレイがあつてこそ」のスポーツにしたい...!!
みんながルールをしっかりと守って思いきり楽しめるスポーツにできるように
少しずつ「フェアプレイ」を考えていきたいな...

応募総数1,701通から大賞受賞!!



日本フェアプレイ大賞
2017表彰状贈呈式
笑顔あふれる贈呈式

今年で3回目を数える「日本フェアプレイ大賞」の表彰状贈呈式が、3月27日に東京都内で行われました。この賞は、スポーツの中で感じるフェアプレイについてのエピソードを全国から募集し、優れた作品を表彰する活動です。1701通の応募から大賞に選ばれたのは、岩手県の現中学3年生、佐藤琉来さんの作品。「最初は

びっくりしたけれど、とてもうれしい」と、佐藤さんは受賞の気持ちを話してくれました。サッカー部のキャプテンとしてフェアプレイについて考えた作品を、日本体育協会の泉正文専務理事は「素晴らしい考え方。今後その気持ちを大切に」と表彰しました。また、選考委員のサッカー元日本代表・福田正博さんは「サッカーはプロとして活躍できる環境が整っている。夢に向かって頑張っている



気持ち良く戦うこと
佐藤さんが応募したきっかけは有名アスリートが全国の小中高등학교でフェアプレイについての講義を行う「フェアプレイスクール」で、元バレーボール選手・大山加奈さんの話を聞いたことでした。チームや対戦手を思いやる大切さを学び、「自分がされて嫌なことは相手にもしない。ルールを守って気持ち良くサッカーをしたい」というフェアプレイへの思いを作品に込めました。



2017年
フェアプレイ
スクール
実施校募集!!
トッパアスリートがあなたの学校にやってくる!!

「フェアプレイスクール」ではトップアスリート・元トップアスリートが全国の小中高등학교で「フェアプレイを考える授業」や「スポーツ体験授業」を行います。

【募集要項】
■応募方法
フェアプレイニュースに同梱のフェアプレイスクールの案内をご確認いただき応募ください。不明点は下記にお問い合わせください。
締切 平成29年6月2日(金)
開催 平成29年6月12日(予定)

お問い合わせ先 公益財団法人日本体育協会 総務部 広報・キャンペーン課(担当:高橋・福田) TEL 03-3481-2273 E-mail campaign@japan-sports.or.jp